

# 看護初期実習

必修

開講年次：1年次前期

科目区分：実習

単 位：1単位

講義時間：45時間

■**科目のねらい**：看護初期実習は、看護職が活動する地域の保健・医療・福祉の場において、看護職や関連職種の活動を見学体験し、保健・医療・福祉分野への関心と理解を深め、看護学を学ぶ動機づけとする。看護の実際を見学することにより、他職種の専門性と看護職とのかかわりを理解する。

- 到達目標**：①看護の対象は、様々な健康レベルにある人々であることを知る。  
②人々の健康生活を支える看護実践の場を知る。  
③保健・医療・福祉施設での看護場面を通して、看護の役割を考える。  
④対象者の健康上のニーズに対して保健・医療・福祉に関わる他職種との連携を知る。  
⑤看護を学ぶ上での自己の目標を持つことができる。  
⑥看護学生として責任ある行動をとることができる。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎菊地ひろみ・上村浩太・大野夏代・貝谷敏子・清水光子・菅原美樹・古都昌子・村松真澄・守村洋・神島滋子・工藤京子・田中広美・原井美佳・藤井瑞恵・矢野祐美子

■**授業計画・内容**：

1. オリエンテーション

看護初期実習の目的・目標・実習方法等、および実習施設の概要について、オリエンテーションを行う。

(実習前に3コマ、および6月1日)。

2. 施設実習（詳細は実習要項を参照のこと）

<実習方法>以下の日程で見学実習を行う。

6月2日～4日：病院・施設での実習

<実習施設>

<保健>

・札幌市中央健康づくりセンター・札幌複十字総合健診センター・札幌がん検診センター・(JCHO)北海道病院

<医療>

・市立札幌病院

<福祉>

・札幌市老人福祉センター

3. 実習のまとめ（学内）（6月5日）

■**教科書**：使用しない。

■**参考文献**：適宜、指示する。

■**成績評価基準と方法**：実習内容および記録（80%）、実習レポート（20%）から実習目標の達成度を総合的に評価する。

評価方法	到達目標					評価基準	評価割合 (%)
	到達目標 ①	到達目標 ②	到達目標 ③	到達目標 ④	到達目標 ⑤		
実習記録	◎	◎	◎	◎	○	実習の記述内容	80%
実習態度	○	○	○	○	○	積極的な行動	
報告会	○	○	○	○	○	GWと報告の取組	
実習レポート	◎	◎	◎	◎	◎	体裁と学習内容	20%
出席						2/3以上の出席で成績評価対象となる	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：看護初期実習では、看護を広く概観し、現場での経験からひとりひとりが感じ取ったことを、次の学習に活かすことを目指しています。体調を十分に管理して履修しましょう。